

## 「情報公開文書」

## 単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

## 化学放射線療法後に durvalumab (durva) 投与が開始された切除不能局所進行非小細胞肺癌患者の後ろ向き検討

### 1. 研究の対象

2018年8月1日 から 2021年8月31日 までの間に、当院の呼吸器内科で切除不能局所進行非小細胞肺癌で化学放射線療法後に免疫チェックポイント阻害剤のイミフィンジ（薬剤名：durvalumab）投与が通院／入院で開始された方

### 2. 研究実施期間

機関の長の許可日から 2024年4月30日 まで

### 3. 研究目的・方法

目的：下記の診療情報等を利用し、切除不能局所進行非小細胞肺癌で化学放射線療法後に durvalumab 投与がどのような患者さんに有益であるかを解明することを目的とした研究を実施するため、研究者が診療情報をもとにデータを選び、予後に関連する因子の分析を行います。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：なし
- ・ 診療情報等：（年齢、性別、患者背景、診断名、治療内容、検査結果、画像診断結果、病状経過、予後等

#### 5. 情報の提供先・提供方法

情報の機関への提供は予定しておりません。

#### 6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

#### 7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2210）

研究責任者                      呼吸器内科                      伊藤 洋子

問い合わせ担当者              呼吸器内科                      伊藤 洋子